加湿器
MH-C11U

取扱説明書

目次

1　安全上のご注意
4　車中での注意事項
6　電池の取り扱い上のご注意
7　リチウムポリマー電池のリサイクルについて
8　各部のなまえとはたらき
9　タンクに水道水、ピーズガード、カドー指定の香り商品を補給する
10　使いかた
12　お手入れのしかた
13　故障かな？と思ったときは
15　霧化ユニットの交換
16　仕様

cado

安全上のご注意 必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を防止するために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みください。
内容を無視して、誤った取り扱いをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

表示の説明

警告　「死亡または重傷を負うおそれがあること」を示します。

注意　「軽傷を負う、または家財に損害を与えるおそれがあること」を示します。

図記号の説明

禁止「してはいけない禁止事項」を示します。

指示　「必ずしなければならない強制事項」を示します。

警告

禁止

ぬれた手でカーDCアダプターを抜き差ししない。
感電の原因になります。

USBコードを傷つけない。
USBコードを傷つけると、ショートや断線して感電や火災の原因になります。
USBコードについて、下記のことを守ってください。

- 加工したり、傷つけたりしない。
- 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたりしない。
- 熱器具に近づけない。
- 加熱しない。
- 持ち運び時にUSBコードを引っ張らない。

分解、改造、修理しない。
火災や感電、けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店、または最寄りのカドー・サポートセンターにご相談ください。

霧化ユニットからの噴霧気は、故意に吸入しない。

異臭や、機器の異常を感じたときは、使用を直ちに中止する。
使用を中止してカドー・サポートセンターにご相談ください。

霧化ユニット、本体のすき間に針金などの金属を入れない。
感電・ショート・発火の原因になります。

お手入れに塩素系、アルカリ性の洗剤を使わない。
洗剤から有毒ガスが発生し、健康を損なう原因になります。

指示

カーDCアダプターは、根元までしっかり差し込む。
差し込みが不完全だと、感電や火災の原因になります。

使用しないとき、お手入れ、点検、移動の際は必ず運転を停止し、カーDCアダプターを抜く。
カーDCアダプターを差し込んだままにすると、感電やけがの原因になります。

⚠ 注意

禁止

タンクに水道水、ピーズガード※1、カドー指定の香り商品※2以外の液体は入れない。
飲料用の水道水は抗菌処理がされているため、カビや雑菌が繁殖しにくく、加湿器の使用に適しています。

入れてはいけない水：

アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水、40℃以上の温水、化学薬品、芳香剤、洗剤を入れた水、蒸留水

タンクカバーまたはタンクキャップをはずしたまま使用しない。
水がこぼれて、周辺の物品に損害が出るおそれがあります。

運転中の本体の周囲に物を置かない。
発生した霧によって濡れる恐れがあります。

テレビやラジオ、ビデオ、コードレス電話、エアコンなどの機器から1m以上離す。
テレビ画面のチラつきや、雑音が入るなどの電波障害が起こることがあります。

お子様が玩具として遊ばないよう注意する。
霧化ユニット、霧化ユニットカバー、タンクキャップなど、お子様が誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

本体を水に浸したり、丸洗いしない。
内部に水が入ると、ショートや故障の原因になります。

凍結に注意する。
凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨ててください。

本体をさかさまにしない。
本体を横向に置かない。
故障の原因になります。本体を転倒させると水が漏れ、周辺の物品に損害が出るおそれがあります。

指示

気圧や温度の変化により水が染み出ることがありますので、使用しないときは霧化ユニットカバーを装着する。

※1 除菌・消臭剤ピーズガードは株式会社ピーズガード社の登録商標です。ピーズガードの保管や使用上の注意に関してはピーズガードの取扱説明書をご参照ください。

※2 カドー指定の香り商品は公式ウェブサイト(http://cado.co.jp）をご覧ください。また、香り商品の紹介カタログ（本製品に同梱）もご確認ください。

車中での注意事項

⚠ 警告

禁止

- **自動車を運転しながら本製品を操作しない。**
  運転が不注意になり、運転ミスや交通事故の原因になります。
- **視界の妨げや運転の支障になる場所、同乗者にとって危険となる場所に設置しない。**
  運転の妨げとなり、交通事故やけがの原因になります。
- **車中に放置しない。**
  直射日光により車中の温度が上昇します。変形したり、パッキンが劣化し、故障や水漏れの原因となります。
- **車の電子キーに近い場所には置かない。**
  電子キーと本体の電波が干渉し、車が電子キーを認識しなかったり、警報音が鳴り、警告灯が表示されることがあります。本体を電子キーから30cm以上離してください。
- **車のアンテナに近い場所には置かない。**
  アンテナとは離して設置してください。近くに設置すると、ラジオにノイズが入ることがあります。

指示

- **本体は、運転の支障にならない場所に設置する。USBコードは運転の支障にならないように配線する。**
  - ステアリング、フットブレーキ、シートレール、シフトレバー（チェンジレバー）などの可動部分に触れたり、はさみこまないようにする。
  - シートの前後の移動や回転、リクライニングの範囲を考慮する。
- **USBコードを配置した後、車の電装品の動作確認をする。**
  コードを配置したら、ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなどの電装品が通常通り動作するか確認してください。万が一車の電気系統に異常が生じた場合、火災や感電、交通事故の原因になります。
- **長時間使用しないときは、必ずカーDCアダプターをシガーライターソケットから外しておく。**
  コードの絶縁素材の劣化による感電や漏電火災の原因になります。

⚠ 注意

禁止

- **ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。**
  落下や転倒によるけがの原因になります。
- **カーDCアダプターまたはシガーライターソケットの金属部に触れない。**
  運転停止後のカーDCアダプターまたはシガーライターソケットの金属部は温度が高いため、触れるとやけどするおそれがあります。
- **本体が飛び出したり、落下するおそれのあるカップホルダーには置かない。**
  落下や転倒によるけがや故障の原因になります。
- **USBコードが極端に折れ曲がったり、圧迫されるようなカップホルダーには置かない。**
  USBコードが破損し、感電や火災の原因になります。

電池の取り扱い上のご注意

下記の注意事項をよく読み、電池を正しくお取り扱いください。用法を正しく守らない場合は、液漏れ、破裂、発熱、発火により、大けが（やけどや失明など）をするおそれがあります。
本製品は、リチウムポリマー電池を内蔵しています。

⚠ 警告

禁止

素手で電池の液をさわらない。

- 電池の液が漏れたときは、カドー・サポートセンターにご相談ください。電池の液が本体内部に残ることがあり、素手でさわるのは危険です。
- 電池の液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水でよく洗浄し、医師の診察を受けてください。
- 電池の液が衣服についた場合も、すぐにきれいな水で洗浄してください。やけどなどの原因になるおそれがあります。炎症やけがの症状がある場合は、医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

禁止

暖房器具の近くや、長時間直射日光が当たる温度が非常に高い（60℃以上）場所で本製品を使用、または放置しない。
自動車でのご使用の場合は、特にご注意ください。昼間に窓を閉めきると、車内の温度が60℃を超えることがあります。車内に本製品が放置されたまま直射日光が当たった場合、窓ガラスのレンズ効果によって、加熱が一層進み、キャビネットが変形するなどの故障の原因となります。

湿気の多い場所で本製品を使用、または放置しない。

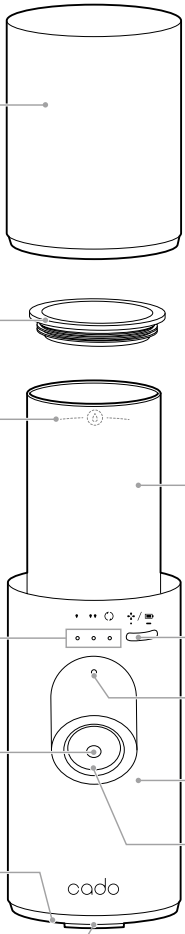
直射日光や火などの激しい熱に本製品をさらさない。

リチウムポリマー電池のリサイクルについて

本機はリチウムポリマー電池を内蔵しています。
廃棄の際にはカドー・サポートセンターまでご連絡ください。

各部のなまえとはたらき

本体



タンクカバー

タンクキャップ

満水の表示
（タンクの裏側）

タンク

モードインジケーター
運転モードや電池の充電、残量状態を表示します。（☞ 10ページ、☞ 11ページ）

運転モード切替ボタン
（☞ 10ページ）

照度センサー
（☞ 10ページ）

霧化ユニット
（☞ 15ページ）

本体

電源スイッチ
（☞ 10ページ）

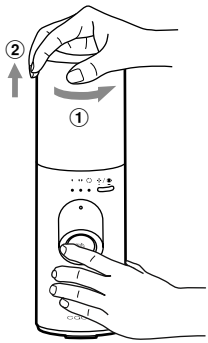
USB接続口
（☞ 10ページ）

霧化ユニットカバー
使用しないときや、持ち運びの際に使用しますので、失くさないようご注意ください。

タンクに水道水、ピーズガード、カドー指定の香り商品を補給する

水を補給する前に、霧化ユニットを取りつけたことを確認してください。
また、下記の操作をするときは、必ず電源を切ってください。

1 **タンクカバーを本体からはずす。**
本体を押さえながら、タンクカバーを反時計回りに回して取りはずします。



2 **タンクキャップを取はずし、タンクに水道水、ピーズガード、カドー指定の香り商品を入れる。**
満水の表示を超えないようにしてください。

3 **タンクキャップを取りつけ、タンクカバーを時計回りに回して取りつける。**

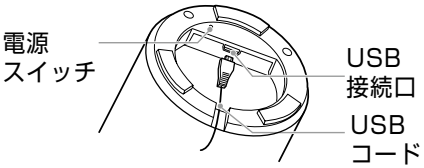
ご注意

- カドー指定の香り商品以外は使用できません。本体のひび割れ、霧化ユニット故障の原因になります。
- カドー指定の香り商品以外のものをご使用になった場合の故障は、保障期間内であっても無償修理の対象外となります。
- タンクキャップをはずしたまま使用すると、水が漏れます。タンクキャップは必ずご使用ください。
- タンクカバーを締める際は本体を揺らさないようご注意ください。また、タンクカバーを最後までしっかりと締めてからご使用ください。

使いかた

使用前の準備

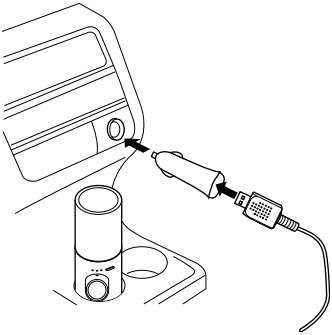
1 **付属のUSBコードの小さいほうの端子を本体底部の接続口に差し込む。**



ご注意

必ず付属のUSBコードを使用してください。

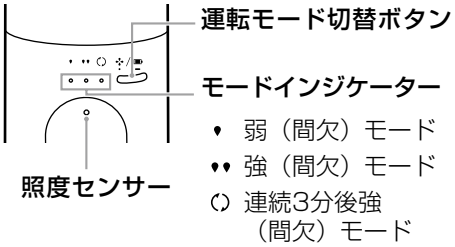
2 **USBコードのもう一端をカーDCアダプターに接続し、シガーライターソケットに差し込む。**



車中での注意事項

- カーDCアダプターの使用範囲：DC12V~24V(一般乗用車、バス、トラックなどで使用可)
- バッテリー上がり防止のため、本体を使用しない時にはカーDCアダプターを車のシガーライターソケットから抜いてください。

操作パネル



照度センサー

周囲の明るさを感知し、暗くなると、点灯しているインジケーターが自動的に暗くなります。

運転を開始する

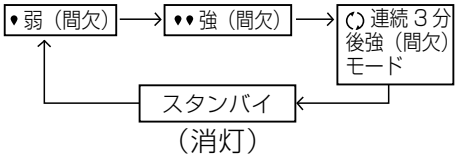
1 **霧化ユニットカバーをはずす。**

2 **電源スイッチ（☞10ページ）をオンにする。**

3つのモードインジケーターが一瞬点灯し、スタンバイモードに入ります。

3 **運転モード切替ボタンを押す。**

霧化量の強弱と間欠動作の切り替えができます。



モードインジケーターが速く点滅したときは、水が不足しています。電源スイッチをオフにし、水を補給してください。

充電

付属のUSBコードを使用して充電してください。電源スイッチをオンにすると充電が始まります。本機を充電しながら運転することも可能です。

充電中の充電量はモードインジケーターにより以下のように示されます。

充電量			
少ない	☀	○	○
↕	●	☀	○
	●	●	☀
充電完了	●	●	●

☀：点滅　●：点灯　○：消灯

充電中に本機を作動させているときは、運転モードのインジケーターがゆっくり点滅します。充電量を確認したい場合は、運転モード切替ボタンを1秒以上押し続けます。

ご注意

- 本体には保護回路が組み込まれており、許容動作温度を超えた場合、モードインジケーターは以下のように交互に点滅し、本機は動作を停止します。

			⇄			
●	○	●		○	●	○

- 長時間ご使用にならないときは、本機の正常な性能を維持するため、半年に一度は充電してください。

バッテリー残量を確認する

運転モード切替ボタンを1秒以上押し続けると、バッテリー残量はモードインジケーターにより以下のように示されます。

バッテリー残量			
要充電	☀	☀	☀
↕	●	○	○
	●	●	○
多い	●	●	●

ご注意

バッテリー残量が少なくなると、作動中でも３つのインジケーターが同時に点滅し、１５秒後にスタンバイモードに入ります。直ちに充電してください。

運転を停止する

電源スイッチをオフにする。

運転が停止し、点灯していたインジケーターが消灯します。

ご注意

電源スイッチオフの場合、操作も充電もできません。

持ち運びについて

- 水を捨ててください。
- 持ち運びの時は必ず霧化ユニットカバーを装着してください。
- キャリングケースに入れてください。

お手入れのしかた

お手入れするときのご注意

- お手入れする前には、必ずカーDCアダプターをシガーライターソケットから抜き、電源スイッチをオフにしてください。
- お手入れには、柔らかい布、綿棒などを使用してください。硬いブラシなどを使用すると、傷がついたり、破損の原因となります。
- 洗剤を使う場合は、必ず中性洗剤を使用してください。中性洗剤以外の洗剤を使用すると、変質、破損の原因となります。

タンクの掃除をする

タンクに水を入れ、充分に洗ってください。

ご注意

給水時は毎回行ってください。

本体の掃除をする

柔らかい布で拭いてください。落ちにくい汚れは、中性洗剤溶液に浸した布を固くしぼってから拭き取り、その後水拭きして本機に洗剤が残らないようにしてください。

長時間ご使用にならないとき

本体、部品について

お手入れ後、付着した水を乾いた布で拭き、日陰（屋内）で自然乾燥させてください。

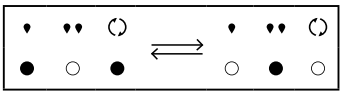
保管について

ポリ袋などの湿気を通さない袋に入れ、湿気が少なく、直射日光が当たらない場所に保管してください。

ご注意

- 充分に乾燥させないまま収納しないでください。
  カビの発生や悪臭の原因になります。
- 外出時や長時間使用しない場合は、タンクに残った水をすべて捨ててください。
- 霧化ユニット周りに水滴が付着した時は、柔らかい布や綿棒で拭き取ってください。

故障かな？と思ったときは

症状	確認事項	対処方法
動作しない	バッテリー残量が下がっていませんか？	直ちに充電してください。 (☞ 11ページ)
	電源スイッチが入っていますか？	電源スイッチをオンにしてください。 (☞ 10ページ)
充電できない	USBコードがしっかりカーDCアダプターに差し込まれていますか？ カーDCアダプターがしっかりシガーライターソケットに差し込まれていますか？ USBコードがしっかり本体底部の接続口に差し込まれていますか？	正しく差し込んでください。 (☞ 10ページ)
	モードインジケーターが以下のように点滅していませんか？ 	本体が適切な温度になるまでお待ちください。しばらくたっても、正常に動作しない場合は、カドー・サポートセンターまでお問い合わせください。
	電源スイッチが入っていますか？	電源スイッチをオンにしてください。 (☞ 10ページ)

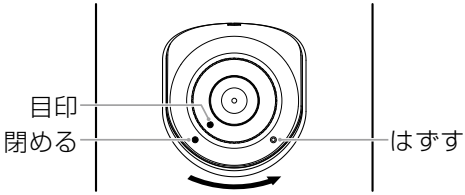
霧化しない	タンクに水が入っていますか？ モードインジケーターが点滅していませんか？	タンクに水道水またはピーズガードを補給してください。(☞ 9ページ)
	水が霧化ユニットにたまっていませんか？	柔らかい布または綿棒などでふき取ってください。
	霧化ユニットをしっかり取り付けていますか？	しっかり取り付けてください。 (☞ 15ページ)
霧化ユニットから水が染み出る	気圧や温度の変化により霧化ユニットから水が染み出ることがあります。	使用しない時は付属の霧化ユニットカバーを閉めてください。
	霧化ユニットが製品寿命に達した可能性があります。	霧化ユニットを交換してください。 (☞ 15ページ)
霧化ユニットから水が漏れ続ける	気圧や温度の変化により霧化ユニットから水が漏れ続けることがあります。	1.タンクキャップとタンクカバーをしっかり閉めてください。 2.タンクカバーを一度はずしてから、閉めなおしてください。
	霧化ユニットが製品寿命に達した可能性があります。	霧化ユニットを交換してください。 (☞ 15ページ)

霧化ユニットの交換

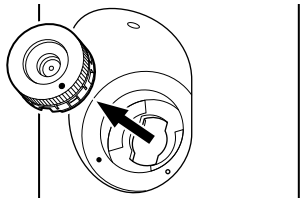
下記の操作をするときは、必ず電源を切り、中の水をすべて捨ててください。

霧化ユニットの取りはずしかた

1 霧化ユニットを、反時計回りに90°回して「目印」を「はずす」に合わせる。

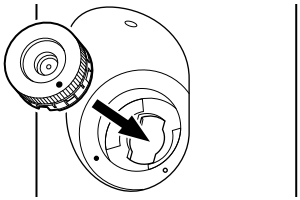


2 霧化ユニットを上に持ち上げ取りはずす。

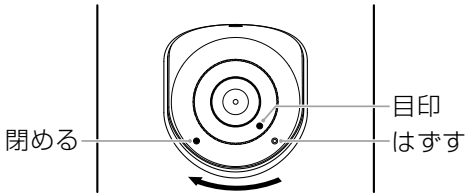


霧化ユニットの取り付け方

1 「目印」を「はずす」に合わせ、霧化ユニットを下の図のように差し込む。



2 霧化ユニットを、時計回りに90°回して「目印」を「閉める」に合わせ、ロックする。



ご注意

- 霧化ユニットをしっかり閉めないと水漏れの原因になります。
- 「目印」と「閉める」の位置が合っていないと霧化しません。
- 霧化ユニットは消耗品のため、3ヶ月ごとに交換することを推奨します。
- 交換用の霧化ユニット（NB-C10）は、弊社製品取扱販売店でお買い求めいただけます。

仕様

型名	MH-C11U				
電源	DC 5V（カーDCアダプター DC12V/24V）				
運転モード	弱（間欠）		強（間欠）		連続3分後強（間欠）
加湿量[ml/h]※1	15		30		100
外形寸法 [mm]	直径65×高さ211				
消費電流	最小：350mA ～ 最大：550mA /充電時最大1.3A				
質量 [g]	約450（カーDCアダプター、USBコード含まず）				
タンク容量 [ml]	約120				
USBコード長 [m]	1.0				
付属品	取扱説明書、保証書、カーDCアダプター、USBコード、キャリングケース、霧化ユニット*（1個、本体に装着済）、霧化ユニットカバー（2個、1個本体に装着済）、ピーズガード（1本）、カドー指定の香り商品（2本）				
	* 型名	NB-C10			
	外形寸法（mm）	直径20 x 高さ15			

※1 水温が20℃の場合。水温により加湿量が変動することがありますが、これは不良ではありません。

※2 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

カドー・サポートセンター 0120-707-212

株式会社カドー

〒108-0071　東京都港区白金台4-2-11　白金台クレスト 8F

電話：03-6455-7610

cado

http://cado.co.jp

YOM200158-0030